

初めまして。時間が経つのは早く、間もなく新しい年を迎えようとしています。

「がんばれ！新人ナース奮闘記！」をご覧いただいている皆様には大変申し上げにくいのですが、私は看護師になり15年目なので、新人看護師というのは気が引けます。少し自己紹介を致しますと、青森県立保健大学看護学科を卒業後、他院で経験を積み、昨年度むつ総合病院に入職し2階病棟に配属されました。よって、古い新人の視点で近況を報告させていただきたいと思います。

当院2階病棟は、外科、内科、泌尿器科、循環器内科など、複数の診療科の患者さんが入院される混合病棟です。患者さんは下北地域医療圏を中心に、近隣町村など遠方より当院を頼り治療を受けられています。外科の患者さんは進行がんの診断を受けると、外科治療に加えて化学療法、放射線療法、緩和医療が施され、長きに渡り治療を必要とする方も少なくありません。当院を信頼し、治療を望む患者さんやご家族の思いに答えられるよう、医療者が一体となり日々診療に取り組んでいます。

昨年の4月から現在までの業務や指導を振り返ると、看護師経験の有無に関わらず、看護師長をはじめ、看護主任やプリセプター、看護スタッフ、他職種の方々に日々熱心な指導をいただきながら、充実した教育体制の中で働くことができていると感じています。多忙な業務の中でも、むつ総合病院の一員として育成したいという気持ちが伝わり、感謝するばかりです。そんな思いに微力ながら応えたい、また患者さんにとって信頼される良質な看護を追求したいと奮闘する毎日です。

もし、当院に興味をお持ちの方がいたら伝えたいです。温かく熱意を持った看護師が沢山いる病院であることを。医療資源が不足している過疎地域にある当院が地域の皆様に信頼されるよう、医療者一人一人が協働していることを。やりがいのある仕事を求める方、一緒に力を尽くしませんか？

閲覧ありがとうございました。